松尾育成会便り

平成15年度
第９号
松尾青少年健全育成会
広報部
（部長　小池　昇）

健やかな育ちを願って

青少年健全育成会会長　熊谷　英彦

四月より松尾地区育成会の会長を仰せつかりました。もとより未熟者でありますが、皆様方のお力添えをいただく中で、何とかその責を果たして参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

さて、育成会十五年度の活動の主なものは、。挨拶運動と声掛け運動の推進。「松ぼっくり」池と金魚の管理。育成会主催文化的・体育的行事の実施。触れ合い広場への参加。広報九号・十号の発行。マレットゴルフ、文化的・体育的行事の実施（土曜日活動）等であります。

今までの継続事業が多いわけですが、今年度からは、土曜日活動の充実を期して、土曜日活動部を独立させました。

その中心的な活動の一つ、マレットゴルフにつきましては、高齢者クラブの方々の主体的で親身なご指導をいただき、竜水園のマレットゴルフ場で、すでに二回実施したところです。参加した子どもたちは、額に汗しながらゲームに熱中して楽しいひとときを過ごし、終わりには配られだジュースにのどをうるおし、高齢者の方々に笑顔でお礼を言って帰っていきました。

こうした育成会のそれぞれの活動を通して、身も心も健やかな子どもたちの育ちに少しでも資することができればと願っております。ご支援のほどよろしくお願い致します。

土曜日活動について

土曜日活動部部長　木下　雅夫

昨年度から、全国一斉に公立学校の完全週休二日制が始まりました。これを受け、各方面から、子ども達の土曜休みについていろいろと言われています。

共働き家庭が増え、さらにこの長引く不景気の中、親は働かなければならず、子どもだけで休みを過ごしている家庭が多く見られるそうです。また、学校の授業が減らされ、子ども達の学力低下も叫ばれています。

このような学校から放たれた子ども達を、地域で協力して育てていかなければなりません。育成会では微力ながら、土曜日子ども達が少しでも有意義に過ごせるよう活動をしています。六・七月には高齢者クラブの方々の多大なご支援をいただきマレットゴルフを二回行いました。しかし、小学校グランドでの野球遊びは雨のため中止になりました。秋以降もこのような活動を計画しますので、多くの子ども達が参加し、有効に土曜日を過ごせればと思っています。

なお、今後子ども達のために学校・家庭・地域で、三位一体の協力体制が作られることを期待しています。

研修会に参加して

健全育成会広報部長　小池　昇

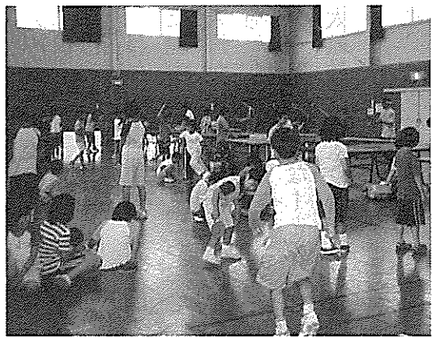
リーダー研修会に参加し様々な事を感じ、育成会活動の大切さを学びました。私自身役員として初の参加であり、自分も児童達と一緒に研修を受ける気持ちでバスに乗り込みました。

もっとたっきゅうがうまくなりたい!!

松尾小三年　金田　真子

わたしは、練習でラリーを続けることができるけど、しあいであまり勝てません。同じクラスのたかのぶくんにも勝てません。フォアよりバックのほうがにがてです。フォアで十回ぐらいできたかわかりません。

わたしは、三月からたっきゅうをはじめました。まだ一年も、はいってからたっていません。だからもっともっとじょうずになってしあいで勝てるようになりたいです。

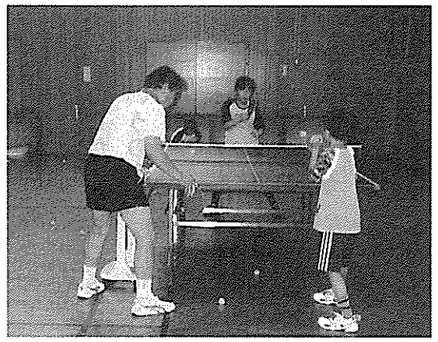


体育館は熱気ムンムン

続けてよかった

松尾小六年　小田嶋太郎

ぼくが卓球を始めたのは、父が「親子でできるらしいし、お父さんもやったことがあるから」と言いだしたことがキッカケでした。イヤイヤでしたが、五年間やっていくうちに少しずつ楽しくなりました。練習が大変なこともありましたが、今ではかなり役に立っています。イヤイヤ始めた卓球でしたが、とても楽しくなりました。そしてたくさんの友達ができました。あのとき卓球を始めてよかったなあと思っています。



サーブはこう構えて……

野球を始めて

松尾小六年　松下　諒平

ぼくは、二年のころこの松尾少年野球教室に入った。

そしてぼくは今年で最後、そう六年生になりキャプテンに選ばれた。

キャプテンになったからにはチームをまとめていきたい。

これが、ぼくの目標だ。

この松尾少年野球教室にはとてもいいメンバーがそろい自分で思うと最高のチームだと思う。だからみんなをまとめもっと仲良く、強いチームで優勝を目指してガンバリたいです。

第40回春季龍峡地区少年野球大会

私達の松尾少年野球教室

毛賀　保護者　西　秀明

私達松尾少年野球教室は、現在五十二名の二年生から六年生で、毎週日曜日・第二第四土曜日を中心に活動しています。

「楽しく・明るく・元気よく」を目標に掲げ、普段出来そうで出来ない、大きな声で挨拶や、試合中に大きな声で応援が出来る、そんなあたりまえの事を、野球教室の仲間達でがんばっています。

又野球教室や各試合を通して将来、宝になる仲間を、一人でも多く作っていってほしいと思います。

編集後記

本年度の前期号（第９号）を発行するにあたり、御理解、御協力を頂いた各方面の方々に、深く感謝申し上げます。

広報部長　小池　昇

各地区からの子供達が、初対面にも拘らず、顔を合せるが早いか、以前からの友達同士のように和気あいあいと笑い、本気で意見を出し合い積極的に研修に参加する姿を見てとても驚き、又羨ましくも感じました。

私自身が指導員としてどう接して良いのかと戸惑う中、担当班の子供達が元気に明るく慕ってくれ、色々と教えられたのは私の方だった気がします。

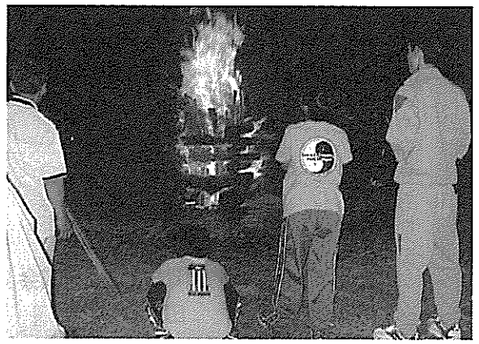
私の班の子供達は、ウォークラリーやキャンプファイヤー等の研修において、一生懸命全員で成し遂げようと協力し合い、一人一人が持っている長所を精一杯出せたのではないかと思います。元気に意見を出す子、思いやりのある子、他人を励ます子、全員をまとめる子等、それぞれの個性を生かし一つの目標に向って取り組む姿は強く心に残り、とても清々しく感じました。この素直な子供達の心を育み伸ばしていく事が私達大人の大切な役割であると痛感し、心の触れ合いとは形式ではなく実践であると感じました。

今回の研修で指導員として学んだ様々な事を、少しでも地区の子供達の育成に役立てていければと思います。

リーダー研修会に参加して

松尾小六年　木下　知美

私は、最初リーダー研修会とは何かわかりませんでした。ただ、他の学校の人も参加するので、友達をたくさんつくろうと思いました。しかし、ただ友達をつくるのではなく松尾小のリーダーになるために、いろいろなことを学ぶ所でした。ウォークラリーやスポーツを通じて、みんなと仲良くなり協力し、グループをまとめていくことの大切さを学びました。このことを忘れずに、学校の行事や活動にはげんでいきたいと思います。



野外でのリーダー研修会

楽しかったリーダー研修会

松尾小六年　小池　敦子

一泊二日で阿南少年自然の家にリーダー研修会に行きました。いろいろな学校の人達が来るので友達ができるといいなと思いました。

少年自然の家ではウォークラリー、竹とんぼ作りをしました。キャンプファイヤーでは班の出し物をしたりダンス、ゲームをしてとても楽しかったです。

たくさんの友達が出来てとてもうれしかったです。手紙を書く約束や夏休みにまた会う約束をしました。とっても楽しいリーダー研修会でした。

おじいさんたちとたのしいマレット

松尾小三年　片桐　美咲

七月十二日にほっとアップルよこでマレットゴルフをしました。さいしょは、もち方や足のいちをおじいさんに教えてもらいました。わたしは、はじめてだったのでドキドキしてたけど、やさしく教えてくれたので、うれしかったです。おじいさんが、「上手になったね。うまい！。」と言ってくれました。あせもいっぱいかきました。

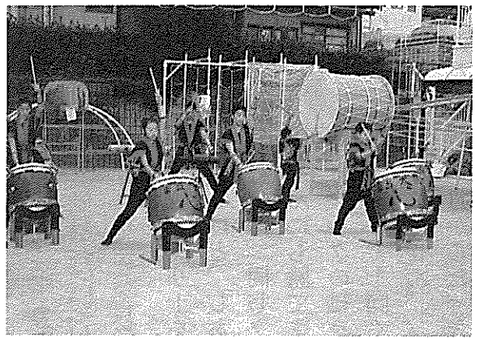
学校からマレットゴルフのおたよりをもらって、友だちの友理恵ちゃんをさそって、よかったなぁーと思いました。

楽しかったマレットゴルフ

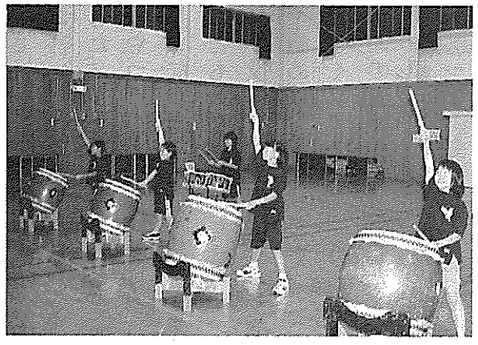
和太鼓教室に入って

城　六年　坂槇　美咲

わたしが、和太鼓教室に入った理由は、いままでやっていた人達がいろんな所で発表する所をたくさん見ていて、すごく、やってみたいなーと思って、和太鼓教室に入りました。実際やってみると太鼓がすごく大きくて、いろんな太鼓があることを知りました。太鼓をたたくとすごく大きな音がしてバチからしん動がきました。バチの持ち方やたたき方があってそれを覚えて曲も覚えました。最初はむずかしかったけど、しっかり覚えて思いっ切りたたきたいです。



バチの振動が心にひびくヨ。



稽古で汗びっしょり

四年間和太鼓をやってみて

毛賀　六年　風間　直人

僕は、四年間太鼓をやって一番難しかった曲は、「飛竜三段返し」でした。本曲に入る前に砂切（しょきり）というのがあって桶でバチを回す所が難しかったです。

あと本曲のリズムが前の太鼓と違って同じリズムなのでつられず叩くのが難しかったです。

緊張したのは、方岳の響きの鉄管（てっかん）でした。鉄管が間違えると音がバラバラになるのでとても緊張します。間違えた時はとてもいやでした。

でもこれからも、頑張って太鼓を続けたいです。

詩吟と出合って

保護者　市瀬　尚子

二人の子供（中二）・（小四）が松尾青少年はっきりクラブ（詩吟）へ通い、今年で五年余となります。生来親に似て引っ込み思案な性格の姉弟でしたが、年々積極性が増し、今では人前で自分の意見をはっきり言えるようになりました。

クラブの練習は土曜日の午後ですが、優しく温かな下條先生のご指導のもと、十人の仲間との触れ合いも楽しみで、毎週張り切って出かけます。

「声気堂堂志尋（たず）ぬべし」（朗詠－新田興の一節）にもありますが、堂々とした声で聞き手に意志を伝えられる吟じ方が出来るよう、精進を重ねて欲しいと望みます。また、小学生の皆様のご入会をお待ちしています。

仲間との触れ合いも楽しみ。

はっきりクラブの近況

クラブ指導者　下條　ヤス

県青少年吟道大会が七月二十日松本にて開催された。飯伊を代表してクラブ員が独吟で出場し銀賞に輝いた。出番までの緊張、そして入賞の喜びは格別共に感動の一瞬であった。会員の出席率も抜群で六年間を通じて皆勤精勤者も多い。八月には、全国大会があり一泊二日の吟行会をかねての出場がたのしみの一つである。「漢詩、少年老い易く」又一茶の俳句「雪とけて」と大きな声が毎週響く土曜日の午後である。